

代表質問を終えて

自民党県議団

まず冒頭、新型コロナウイルス感染症対策を総括し、知事自身のリーダーとしての評価と対応を質しました。知事からは、「対策本部」の設置、「医療供給体制の確保」等の支援策を講じてきたとの報告があり、スピード感を持ち、市町村と連携し県民の先頭に立って長い闘いに打ち勝つとの決意を確認するとともに、今回の感染症拡大を踏まえ、九州の自立を考える会が九州の成長戦略に係る政策提言で設置を求め、実現の取り組みが進められてきた「アジア防疫センター（仮称）」の本県誘致の実現に向け、九州地方知事会議での議論を進め、今年度開催する「ワンヘルス国際フォーラム」を通して機運の醸成を図るとの回答を得ました。

また、県独自の観光振興策の実施など、社会経済活動のレベルを上げていくとの意向を確認し、特に、飲食店の営業自粛により販売が落ち込んでいる県産酒の消費促進を支援するために予算を追加措置するとの答弁を引き出しました。さらに、新たな県スポーツ大会の開催について、教育委員会とともに代替大会の開催に尽力する旨の回答を得たところでした。

日田彦山線復旧問題については、新たな地域振興基金を活用し、九州の自立を考える会に設置された「日田彦山線復旧問題対策協議会」における議論を踏まえ、添田町・東峰村と協議しながら、地域の皆様や県議会と一緒に取り組んでいくとの答弁を得て、3年間に及ぶ復旧・振興問題解決の方向性が見えてきました。自民党県議団としても引き続き鋭意取り組んでまいります。

民主県政県議団

新型コロナウイルス感染症対策に関して知事のリーダーとしての姿勢を求めると共に、市町村・国との連携、本県の景気状況等を問い、事業者・個人への経済的支援の考えを質しました。知事からは、自らが先頭に立ち長い闘いに打ち勝つ旨と、我々会派がまとめた103項目の提言に対して9割以上に対応しているなどの回答を得ました。感染症の第2波を想定し強化すべきPCR等の検査体制、医療供給体制の対応を問い、検査能力の増強を図ること、医療機関との連携体制の下、円滑かつ迅速な医療を提供する旨の回答を得ました。

再開した学校に関し、第2波への備えと子ども達の学力保障の観点から質問し、教育長からはオンライン学習ができる環境の整備、学習活動の重点化、学校行事の見直しや少人数学級への取り組みを進めることに加え、高校入試については例年と同じ時期に実施予定との答弁を得ました。

日田彦山線の復旧、沿線地域の振興については、知事から鉄道復旧ができず申し訳ない旨の発言とBRT延伸案に至った経緯が示され、沿線地域の皆様と共に地域振興に取り組むとの発言がありました。また、朝倉市の被災地振興策として園芸農業の振興、原鶴温泉を活用した観光振興を図ること、被災者支援は続けるとの回答を得ました。

公明党

全世界を巻き込み、人類の生存への脅威ともなった新型コロナウイルス感染症。私たち公明党は、現場で調査した事実を基にきめ細かい対応を求めました。医療や介護の現場で起こっている問題をはじめ、ステイホームに伴う児童虐待や家庭内暴力、自殺などへの対策を県に質しました。経済の問題では、失業や事業継続、学生の就職活動への支援、コロナ後を見据えた観光振興策などを要望。いずれも知事から前向きな答弁をいただきました。そのほか、長期にわたった学校の休業など教育問題を教育長に質問。県警察本部長にコロナ関連詐欺の防止策を求めました。

近年、主にインターネットを介した不寛容な風潮が広がり、それが自殺問題などにつながっていることを重視。県議団として調査を行い、県の対応を質しました。調査結果からは、いわゆる「ネットリンチ」の構図やフィルターバブルの実像などいくつかの重要な実態が推測され、メディアリテラシー施策の充実を提案。知事は「講演会を開催し啓発に努める」と答えました。また、国連のSDGs（持続可能な開発目標）の普及、7歳児の交通事故防止策について県、県教委、県警察の対応を訴えました。

コロナ禍の収束はまだ先でしょう。第2波、第3波も心配されます。どこまでも県民の生活に即して活動してまいります。

緑友会

今回の代表質問は、新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るい、本県も緊急事態宣言解除後初の本会議でしたので、感染症対策における知事の政治姿勢を中心に質問しました。

まず、5月23日以降に感染者が急増した北九州市の状況を本県としてどう分析しているのかと知事を質したところ、知事は「第2波が来たとは分析していない。他地域への波及を食い止めなければならない」と答弁されました。

また、国が感染拡大防止策として推奨している「新しい生活様式」でマスク着用が説かれています。しかし、これから夏が到来する中、マスク着用では熱中症の危険性が指摘されています。そこで、マスク着用の本県の考え方を質したところ、「野外で人と十分な距離が確保できる場合にはマスクをはずす」ことなどを県民に分かりやすく示すとのことでした。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ治療薬も開発されておらず、コロナとの闘いは長期戦が予想されます。だからこそ感染拡大と経済対策の両立が必要となります。

この他、新型コロナウイルスの農林水産業に対する影響と支援策、長期休校の児童生徒への影響と対策、平成29年九州北部豪雨の復旧復興の進捗状況とJRR日田彦山線沿線の地域振興策などを知事に質しました。

提出された議案

令和2年6月定例会では議案16件が提出され、いずれも原案のとおり可決または同意されました。

- 議員提出議案 1件
 - ・福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 予算議案 2件
 - ・令和2年度福岡県一般会計補正予算(第2号)
 - ・令和2年度福岡県一般会計補正予算(第3号)
- 条例議案 5件
 - ・福岡県税条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・地方活力向上地域における福岡県税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県宿泊税条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県日田彦山線沿線地域振興基金条例の制定について
 - ・福岡県農林水産関係手数料条例及び福岡県食品の安全・安心の確保に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 工事請負契約の締結に関する議案 5件
- 人事に関する議案 2件
 - ・教育委員会委員の任命について
 - ・収用委員会の委員及び予備委員の任命について
- その他の議案 1件
 - ・財産の取得について

可決された意見書・決議、採択された請願

- 可決された意見書**
 - 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書
 - 地方財政の充実・強化を求める意見書
 - 無戸籍問題の解消を求める意見書
 - 義援金に係る差押禁止等に関する法律の恒久化を求める意見書
 - 私学助成の拡充に関する意見書
- 可決された決議**
 - 人獣共通感染症への対応力の強化に関する決議
- 採択された請願**
 - 私立小・中・高等学校への助成制度の拡充等に関する請願